

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成29年度事業点検・評価調書

4- -3

4-  
-3

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	多様な説明媒体の整備
節	. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	3 多様な説明媒体の整備	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	県文化行政課、佐渡地域振興局企画振興部
事業概要	<p>【事業目的】 説明媒体の整備により、来訪者の構成資産に対する理解促進を図る。</p> <p>【事業内容】 構成資産の価値を分かりやすく説明するため、関連機関と協力し、ICT等を活用した映像の提供や多言語機能など、効果的な様々な説明媒体を整備する。( ICT:Information and Communication Technologyの略)</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>【29年度計画】 メインガイダンス施設の展示設計やサイン計画策定の中で、ICTを活用した映像や多言語機能等を活用した資産や物件等の説明サインについて、事業化に向けた検討を行う。</p> <p>【29年度実績】 メインガイダンス施設の展示設計の中で映像の提供方法や外国語対応について検討を行った。 現地ガイドアプリのシステム構築について検討を行った。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 多様な説明媒体の整備については、予算や設置場所、内容・表記(多言語)について、関係機関と協議のうえ整備が必要である。</p> <p>【今後の取組】 メインガイダンス施設の展示工事に着手し、その中で映像や説明媒体、現地ガイドアプリの整備を行う。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 ( a ● b · c ) 概ね計画どおりに事業が進行していることから、B評価とした。</p> <p>【事業実施の効果】 ( a ● b · c )</p> <p>【総合評価】 ( A ● B · C )</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。